

No.	提案者名	提案の名称	提案概略	提案の形態	行政課題の名称	関係課	採否	補助決定額 (円)
1	愛の兜折り紙ボランティア会	愛の兜折り紙ボランティア	<p>歴史ある米沢の観光の一助を担うため、当地を訪れる観光客やビジネス客並びに外国からの来市する方々に時代を生き、歴史をつくってきた武将の兜折り紙を贈呈し当地の関心を高めていただくとともに歴史ファン等の誘客及び米沢に再度来たくなるリピーター作りに関する事業取り組みを図っていく。複数の観光要素にその場所にあった「兜」を配置し、配置場所を記したパンフレット（ルートマップ）を作成し、それを基に米沢を広く観光していただく。</p> <p>子供達にも関心を持ってもらう為にも親とのふれあいも含めてかぶれる兜の作成をしプレゼントしていく。各コミセン・学校（米沢商業高校）で折り紙教室を実施。兜折り紙ボランティア会員の育成・確保に努める。</p>	行政課題型	地域資源を活用した観光の振興	観光課	採択	350,000
2	チーム・キラキラ大作戦	キラキラ大作戦～地域で輝く学生応援プロジェクト～	<p>米沢市は歴史や文化には名高いものがありますが、冬の生活は雪下ろしや雪片付けなど市民には大変厳しい現状で特に冬の夜イベントが少ないです。</p> <p>高齢化が進む農家に担い手が少なく農業の大切さを知ってもらいたい。</p> <p>そこで、市民有志や学生さんと手作りのイルミネーションをキラキラと輝かせ米沢の夜に感動と笑顔があふれる憩いの場所を目指します。</p> <p>また学生さん達と農業体験を行う事で作る喜び大変さ体感できる場所を提供します。</p>	行政課題型	市民と学生の交流推進	総合政策課	採択	190,000
3	特定非営利活動法人から・ころセンター	高齢化するひきこもりを地域で支える事業	<p>高齢化するひきこもりに対して現在の制度や地域の理解、1つ1つの機関の力では問題解決にならない現状を踏まえて、地域に密着してさまざまな支援をしている方々に研修会を通して、よりひきこもりの問題を深く知ってもらい活動に役立ててもらおう。また地域が連携して取り組んでいかなくてはならない理由と当事者、経験者、支援者、外部講師などさまざまな観点からの講演を聞いてもらうことで理解を深めてもらう。初回研修とフォローアップ研修、年2回開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会（当事者、経験者、支援者、外部講師）※内容は講師と打合せで決める。 ・グループトーク（自身が関わっているケース。または自身が関わったときにどうするかなどグループごとに話し合う時間） 	市民発案型	—	社会福祉課	採択	140,000
4	米澤直江會	直江兼続公没400回記念事業	<p>直江兼続公400回忌をH30.9月にむかえるにあたり功績を市民に広め、展示コーナーなどをもうけ米沢に訪れる観光客にアピールしたい。</p>	市民発案型	—	観光課	採択	100,000

No.	提案者名	提案の名称	提案概略	提案の形態	行政課題の名称	関係課	採否	補助決定額(円)
5	地域美術部 ネザワザワ	中学生と街を楽しく ～地域美術部・ ヨネザワザワの ワークショップ を通して～	<p>地域美術部は、米沢市内の中高生を対象とした課外活動である。アーティストを講師に迎え、中高生がアートを楽しみながら、地域の多様な人々と関わり、新しい価値観を育てる機会を創出する活動である。彼ら自身はもちろんのこと、そこに関わった地域の人々や街が楽しくなることを目指す。また、中高生の生涯教育の一環として、本市にある文化施設（米沢市立図書館及び市民ギャラリー）を会場として活用し、文化施設を積極的に利用する態度を育てていく。</p> <p>本団体の活動目的は以下の3点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域との繋がりの中で自己肯定感を高めながら中高生の将来像（仕事・生き方）を育む。 2 地域の賑わい創出・シビックプライドの醸成。 3 既存の公共空間（地域文化施設等）の住民参加による再活性化。 	市民発案型	—	文化課	採択	370,000
6	置賜動物愛護推進連絡会	ニャンとかすっぺやプロジェクト	<p>市内の地域や公園等で増えすぎた飼い主のいない猫の苦情や持ち込みが多い地区の情報を、市や置賜保健所に情報提供いただきながら調査を行う。</p> <p>市や保健所と協議して対象地区を選定して、区域内の飼い主のいない猫を捕獲、動物病院で避妊・去勢手術をしてから、元の場所に放す。</p> <p>（MAX60匹、助成金額や対象地域内の猫の性別により変動有）</p> <p>増やさない対策をしながら、数年かけて区域内の個体数を減らす。また、苦情による近隣トラブルから、個人が地域から孤立していく傾向がある。</p> <p>これは社会問題として、市と協働しながら個人と地域との関係改善を図り、コミュニティ力の強化に努める。</p>	市民発案型	—	環境生活課	採択	450,000
7	学習支援団体 まなびす	米沢市における 学習支援	<p>現代の社会において、貧困家庭の子どもと富裕家庭の子どもの学力の差が広がっている。主な要因として、貧困家庭のこどもは経済的な余裕がないために学習塾等へ通えない現状が存在しているためである。よって貧困家庭等にクローズアップした無償の学習支援を行う事により貧困家庭の子どもが抱える学力格差を減らすことにつながる。また、学習支援を受けることにより学力が上がり、現役の市内の大学生と触れ合うことで米沢市内の大学進学を目指す子供が表れる。それにより、米沢市の抱える人口減少の問題解決にも繋がる。</p> <p>また、現代のグローバル社会において英語力は必要不可欠になるにもかかわらず、学校教育ではコミュニケーションとしての英語の力は養われにくい。そこで日本において諸外国に国際協力を行っているJICA（独立行政法人）から講師をお招きし、外国のお話や活動について伺い外国世界に興味をもつことのできる事業を行う。</p>	行政課題型	青少年の健全育成	社会教育・体育課	採択	400,000

No.	提案者名	提案の名称	提案概略	提案の形態	行政課題の 名称	関係課	採否	補助決定額 (円)
8	農業×教育プロジェクト	農業×教育プロジェクト ～米沢を発信する出前授業～	<p>「環境問題」や「食の安全」に関心が集まる現在、産地を身近に感じて食の本質を知ることが求められている。全国の小・中学校においても農業従事者と連携した授業づくりが行われ、成果を上げているが、これらの実践の多くは、地元産地の特産品や農業の理解が目的であり、都市部と産地の交流という点では不十分である。</p> <p>本事業は、農業とは程遠い都市部の小・中学校や海外日本人学校で、米沢市の自然や暮らし、人の魅力について農業従事者が直接、出前授業を行い、産地である米沢市や作り手を身近に感じさせることを目的としている。</p> <p>米沢市の魅力を都市部の生徒に伝える実践は、環境問題や食の安全を身近に捉えさせる機会となり、保護者や教員などの地域コミュニティに対しても、米沢市のイメージアップにつながる。さらには、米沢への観光・交流、そして移住にも繋がることが期待される。</p> <p>また、米沢市の農業従事者にとって都市部や海外の児童・生徒の反応を肌で感じる経験はやる気や誇りになり、さらなる地元農業の活性化につながると考えている。</p>	市民発案型	—	農林課	不採択	—
9	米沢こども食堂ネットワーク	こども食堂開催にかかるスポレク活動活性化事業	<p>近年子どもの貧困が社会問題となっています。米沢においても「孤食」や十分な食事の摂取ができていないこどもがいます。そのようなこどもたちに①学習支援②スポーツレクリエーション③食事の支援をおおむね月に一度行なっているのが私たちの「こども食堂」ですが、主に北部コミセンのホールを使って行なっているスポーツレクリエーションの種目がこれまで「シュートボール」の1種目だったのでバリエーションを増やしたいという関係者からの声に応じて「スポーツチャンバラ」「タグラグビー」の2種目を追加する事業となります</p>	市民発案型	—	こども課	不採択	—